

青森県立保健大学附属図書館だより

# RAPPORT

APRIL 2012 NUMBER

18



## 図書館は過去と未来をつなぐ館

青森県立保健大学・大学院健康科学研究科教授

松江 一

特集

## 新入生へのメッセージ 2012

上村亜由美 尾崎 遥

高松 優 田島 彩



シリーズ 図書館を使いこなそう

第18回 図書館のパソコンの使い方



『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します

**Rapport**：フランス語で、関係・関連・類似点



## 図書館は過去と未来をつなぐ館

青森県立保健大学・大学院健康科学研究科教授

松江 一

### 皆さんは図書館に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？

ある人は講義や実習で解らない所を調べる、ある人は文献調査、又ある人は自分の学習環境を確保したいなど、人それぞれでしょう。全国出版協会によれば毎年新刊は書籍と雑誌を合わせて計11万3千冊出版されているという。

最近、図書館に並べられている本、文献及び資料の凄さに改めて感動している。本学図書館にはおよそ11万2千冊以上の蔵書が有り、それらはどれをとっても著者が、その人の全能力と多大な時間を費やし、心血を注いで完成させたものだからである。

### 良い本に出会うこと

一生の内、良い本に出会えばその人の生き方を変えてしまうほどの影響力があるものもある。例えば、小生、専門とは全く異なるのに、歴史もの、特に戦国時代と明治維新が好きである。はじめて司馬遼太郎の「竜馬がゆく」に出会ったのは外国で博士研究員を終えて帰国、弘前大学医学部生化学第一教室の助手として就職した頃であった。研究室は「白夜の城」と言われるとおりに、昼夜をとわず、曜日にも関係なくどこかに明かりが付き、朝研究室に入ると、その後夕食をとり一度もどるが、又



再出勤、帰宅するのはいつも 10 時近かったように記憶している。毎週土曜日には世界の最先端の研究をウォッチするために、図書館で新刊雑誌、Index Medicus や Current Contents をチェックし、世界の先端と現在の自分との距離を常にはかっていた。

そのような状況でも布団に入ってから、ごそごそ毎日、しかもあつという間に読んだのが、「竜馬がゆく」である。藩、幕府と朝廷の間で、激動の時代から新たな夜明けに向けて、すごい覇気と行動力でぶつかり合う個人や組織、そしてその中で歴史の先に一点の大義と灯りを見つけ、そして圧倒的な包容力と人間的魅力で、油と水ほどの違いのある勢力をある方向に向かわせた、坂本龍馬の生き方に心が躍ったものである。そしてそれ以来京都が好きになり、学会で京都に行くたびに一度は抜け出して、明治維新や戦国時代の活躍した人やその旧跡を訪ねたものである。

その後の小生のモノの見方、考え方、行動様式、生き方に大きな影響を与えているように思う。

### ヨーロッパの遺跡で見たもの

また最近、毎年夏休みを利用して、スペイン、イタリア、チェコ、ウィーン、ハンガリー、フランス、オランダ、ベルギー、ドイツ、フィンランド等を見ることができた。行く一週間前はその国のあらゆる情報を本やインターネットで仕入れ、それを旅行直前の 2～3 日間と飛行機の中で無理矢理頭に詰め込み、観光ガイドのお話を聞くのも楽しい。その様な中、名所旧跡を訪ねて共通しているのは、古来偉大な支配者と言われている人達の多くは、膨大な書籍を集め、しかも蔵書の数を国の力、情報や技術力としていた様であり、他国の書籍を戦いの後の戦利品として自国に持ち帰って、自国の言葉に訳した例や、他国の将を招いた時に、その蔵書数のすごさを見せて戦わずして屈服させた例は枚挙にいとまがない。

### 本を読む人は尊敬できる

最初にも述べたように、小生は研究者であるから、文献調査など仕事のために必要として本に接するが、時々小説やノンフィクションの本に強く引き込まれる事がある。頭の中では自由に他国にまで飛び、心はドキドキときめいたり、癒しの穏やかな風が吹いたり別世界を楽しむ。あるいは何かの道で一流となった人の本、これも中々面白い。全く自分と異なった分野の事であっても、成る程と深くうなずける事がある。そしてそれは自分の中に生かす事が出来る事が多いのがおもしろいのである。

小生より若くても、本を多く読んでいる人や図書館に多く通っている人を、小生は心の何処かで尊敬している。なぜなら、そこからにじみでる人間的な深さや味わいは、何か物事に対処した時、その人の持つ品格として感じるのは自分だけか？

図書館にある書籍と雑誌は、全て出版刊行された時点から過去の遺産となるが、そこでそれを読破してゆく君たちは、それによって新たな知識を得、それが人格、生き方や人生にまで影響を与えるなら、「図書館は過去と未来をつなぐ館」と言えるだろう。

# Profile

松江 一 (マツエ ハジメ) 理学博士

青森県立保健大学大学院健康科学研究科教授

出身、青森県鶴田町 1946年9月26日生まれ



## 【略歴】

1975年：北海道大学大学院理学研究科博士課程修了

1974-1975年：日本学術振興会奨励研究員

1975-1976年：カナダUBC（ブリティッシュコロンビア大学）博士研究員

1976-1987年：弘前大学医学部助手・講師・助教授

1987-1988年：青森県商工労働部商工政策課主幹

1988-2003年：青森県産業技術開発センター開発部長

2003年：青森県立保健大学健康科学部・大学院教授 兼人間総合科目主任教授

2004年：青森県立保健大学健康科学部・大学院教授 兼図書館長

2005年：青森県立保健大学健康科学部・大学院教授 兼健康科学研究センター長

2007年：青森県立保健大学健康科学部・大学院教授 兼大学院健康科学研究科長

## 【担当科目】

生化学、生命基礎科学、生化学実験1、食品学各論、栄養科学総合演習、卒業研究。

## 【主な研究・指導内容】

1. 未利用資源のバイオ素材としての有効活用。
2. 地域バイオ資源の高付加価値化の研究。



## 特集

# 新入生へのメッセージ 2012



### 私の図書館活用法

理学療法学科2年 上村亜由美



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に、期待や不安などを抱いている人も多いでしょう。サークルやアルバイト、授業など大変なこともあります。でも楽しい大学生活になるはず。しかし、時間が過ぎるのはとても速いので、充実した大学生活にするために、私から図書館の利用法について紹介したいと思います。

私は主に、2つの目的で図書館を利用します。1つ目は、レポート作成のためです。大学ではレポート提出が多くあるため、文献が必要になってきます。そこで、多くの専門書が揃っている図書館を利用します。また、普段の授業で出てくる書籍もあるので授業終了後すぐに調べることも可能です。利用するときは、図書館内にある蔵書検索のできるコンピューターを上手く活用すると時間をかけることなく利用できると思います。

2つ目は、試験勉強のためです。図書館内はとても静かですし、みんなが集中しているので自分も頑張ろうという気になれます。個人用の机、大きな机、個室など種類があるので、とても便利です。試験前は私もよく利用しますが、席が埋まってしまうほどみんなが利用しています。

私は高校時代、図書館を利用することはあまりなかったのですが、保健大の図書館はよく利用します。多くの書籍があるためさまざまなことに興味を持つようになったし、広い視野で物事を考えられるようになったと思います。

図書館には利用上でのルールがいくつかあります。多くの方が利用する図書館ですので、そのルールを守りみんなが気持ちよく利用できるようにしましょう。たくさん図書館を利用して、充実した大学生活を送れるよう、頑張ってください。

“自分らしさ”を  
見つけに行こう

栄養学科4年 尾崎 遥



新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。大学の雰囲気には慣れてきましたか。みなさんにとって今までとは違う環境に、まだ馴染めていない方も多いかもかもしれません。最初のうちは戸惑うこともあるかと思いますが、同じ夢をもつ仲間とステキなキャンパスライフを送られるよう、心から願っています。

さてさて、この度のテーマは図書館について…ということですので、保健大学の図書館の魅力や私なりの活用の仕方を書いていきます。

まずは魅力から。皆さんに見て欲しいのが入り口正面の新書やイチ押し図書のコーナーです。ここにはその時話題の小説、料理本(例:タニタ食堂)、論文の書き方の本など、どの学科の学生が読んでも楽しめるもの、学びに繋がるものが置いてあります。また、本を紹介する雑誌もあるので常に新しい本と出会えるきっかけがあるんですよ。バックナンバーもストックされているので、とばしちゃった号も後から読めて安心です。

また、保健大学では学生の要望を直接反映するため「ブックハンティング」という活動も行っています。(各学科の学生が本屋へ行き図書館で置いて欲しい本を注文する、というものです。)話題の本が大学で読めるなんて…。節約志向の学生にとってはとてもありがたいですね。(笑)

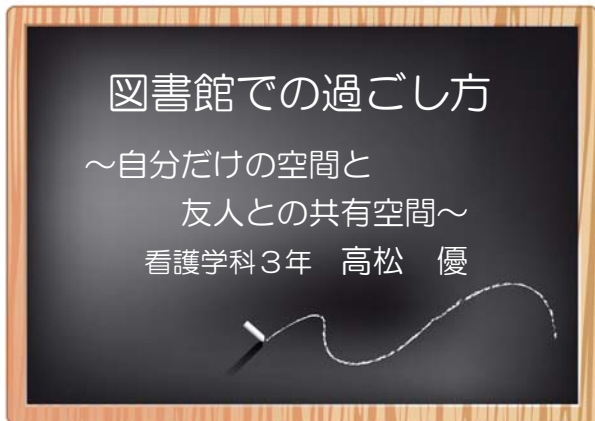
大学では様々な考えを持った人達と出会い、多くの経験を重ねることで価値観が広がる場でもあると思います。そして、視野を広げる本との出会い。自分の時間を持てる大学生活だからこそ本との時間も大切に、自分らしさを見出していただたら素敵ですよ。保健大図書館は先ほど述べた様に、本と出会うきっかけを提供してくれます。そのことで私達学生の“自分らしさ”探しへのサポートしてくれることが魅力ではないかと感じています。

続いて活用の仕方についてちょっとお話を…。私はよくテスト勉強のために利用しています。サークル活動などの時間を充実させるためにも、日頃から図書館で過ごす時間を作ってみるのも良いかもしれません。保健大図書館でテスト勉強をすると

- ・とっても集中できること。(様々なタイプの席がある、自分の空間を確保できる。)
- ・周りの人の頑張る姿に励まされること。(勉強に心が折れそうな時は特に…。)

の二つの利点があります。お気に入りの場所などを探してまずは初めての試験を乗り越えてください。また、試験ラッシュが終わった後は今まで勉強を頑張ってきた場所で、大好きな本を読んで開放感を味わう…なんて使い方もありますよ!皆さんなりにこの図書館を活用してくださいね。あ…!借りた本ですが、貸し出し期間の2週間を超えると図書館のお姉さんからyahoo!にメールが届きます。(笑) 期限を守って利用しましょうね。

皆さんが充実した大学生活を送られるよう心から応援しています。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新しい環境や生活の中での不安、期待でいっぱいのことと思います。そんなみなさんに学校生活のなかに図書館の使用を取り入れることによって、より有意義な生活を送れるように図書館の過ごし方について少し紹介していきたいと思います。

みなさんは大学生活以前に図書館ではどのような過ごし方をしていましたか？高校時代、私は本を読むのが嫌いで、すぐ眠くなってきてしまうという理由で図書館に近寄ることはほとんどありませんでした。しかし、大学の図書館は違いました。図書館には私たちが将来に役立つ内容の専門的な蔵書がたくさんあり、自分の必要としている情報をすぐに手にとってみる事が出来ました。

実際に、実習で患者さんとの関わりあいやケア方法に悩んだ時、自分の持っている教科書だけでは情報が足りなかったり、メンバー同士で語り合ったりしても解決できない場合、図書館はいつでも私たちを助けてくれます。そんなこともあり、実習期間は図書を求めて学生が図書館にあふれています。実習期間、図書館を利用する理由はまだあります。同じ実習場所で患者さんの情報を共有し、次にさらに良いケアが出来るように話し合うこともグループ学習室を使えばできるのです。この時間を友人と共有することで実習をより円滑にし、学びを深める事が出来ると思います。

次にレポートを書くときに便利な利用方法をご紹介します。図書館ではノートパソコンを借りることが出来ます。そのため、レポートに必要な本を何冊か借りて机に広げてやることで、重い蔵書を図書館の外に持っていかなくても大きな机をフルに使い十分にレポートを書くことが出来たり、執筆中になにか違うことに興味が出て調べたいと思ってもすぐに本を取りに行ったりすることが出来るのでぜひやってみてください。その他にも、テスト前の期間に集中して取り組みたい時は、テレビや友人とのおしゃべりでついつい無駄な時間を過ごすこともなく集中出来るしまうのも、静かな空間で他の学生がカリカリとペンを走らせる音で「自分も頑張らなければ」とやる気を出させてくれる図書館ならではの特征なのだと思います。

最後に、図書館には専門の蔵書だけでなく、雑誌や、各学科の先生のお勧めしている本なども紹介しているので、一度図書館を見回してみると自分に合った図書館での生活方法が見えてくるのではないのでしょうか。今まで図書館をあまり利用したことのない方も、図書好きの本マニアの方もいろんな角度から図書館を利用することで一緒に楽しくも忙しい学生生活を乗り越えていきましょう！



## 一生の宝物

社会福祉学科 4年  
田島 彩



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！一人暮らしをしている人はホームシックで寂しくなっているかもしれませんが、ほとんどの人はこれからの大学生活をとっても楽しみにしていると思います。実際大学生活は楽しいです！勉強は専門的になり、授業は夜6時半までと長くなり大変ですが、色々な出身地・考えの友人と出会い、夏休みや春休みが2ヵ月もあり、行動範囲が広がって色々なことにチャレンジできます！先日、温泉でおばさんに、「大学生活は財産だよ。」と言われました。本当にその通りだと私は思います。きっと社会に出たら「大学生の頃に戻りたい。」って思うんだろうな……と思います。だから後悔のないように思う存分大学生活を満喫したいし、みなさんにも満喫してほしいです。

大学生活を満喫するには、遊びも大事ですが、勉強も大事です。「まだまだ学生でいたいから……。」と留年をしてしまったら笑えません。勉強のときにぜひ活用してほしいのが保健大の図書館です。私は家で勉強できないので、テスト前になれば図書館で勉強をします。テスト前は図書館



が混んでイス取りゲーム状態になるので、普段から勉強しておくことをオススメします。図書館に「グループワークルーム」という部屋があります。ここは話をしてもいい場所なので友達と問題を出し合いながら勉強することができます好きな場所なのですが、おしゃべりに夢中になることも……。あと、勉強の休憩に……と思って本を読んでもしまうことも注意です。文庫本が少ないのですがどれも読みたいと思うものばかりです。ブラックジャックのマンガがあるのはもう致命的です……。

遊びも勉強もいっぱいして有意義な大学生活を送って下さい！







第18回

## 図書館のパソコンの使い方

図書館では、みなさんが用途に合わせて利用できるように、パソコンを3種類用意しています。蔵書などを探せる検索用パソコン、レポート作成時に大好評の貸出用ノートパソコンに加え、2012年4月より新たにメディアスペースのパソコンが9台仲間入りします。

今回の「図書館を使いこなそう」は、それぞれのパソコンをどんな時に使うのが便利なのかをご紹介します。

1

図書館の好きな場所でレポートを作りたい！

そんなあなたには…

**貸出用ノートパソコン**

がおすすめ

1・2・3階の各閲覧席、研究個室、グループ学習室など、どこでも好きな場所で使えます。検索用パソコンとメディアスペースのパソコンは固定されていますから、場所に縛られずにパソコンを使いたい人におすすめです。



延長コードの貸出もしています

本棚の近くで作業ができるので、図書を多く使ったレポート作成に便利です。ノートパソコンは5台用意しています。

\*インターネットやプリンターへの接続はできませんのでご注意ください。



図書館の蔵書検索をしたい！  
インターネットやデータベース、  
電子ジャーナルを使いたい！

そんなあなたには…

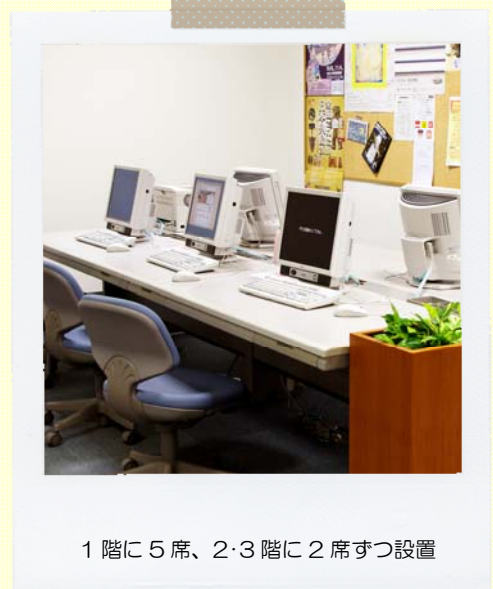
## 検索用パソコン

がおすすめ

蔵書検索、インターネット利用が可能です。

大学で契約しているデータベースや電子ジャーナルにアクセスすることができます。プリンターも利用できますが、印刷用紙は持参してください。

\*このパソコンではレポート作成はできません。



1階に5席、2・3階に2席ずつ設置

NEW!!



パソコンと図書をハイブリッドに  
駆使しながらレポートを作りたい！

そんなあなたには…

## メディアスペースのパソコン

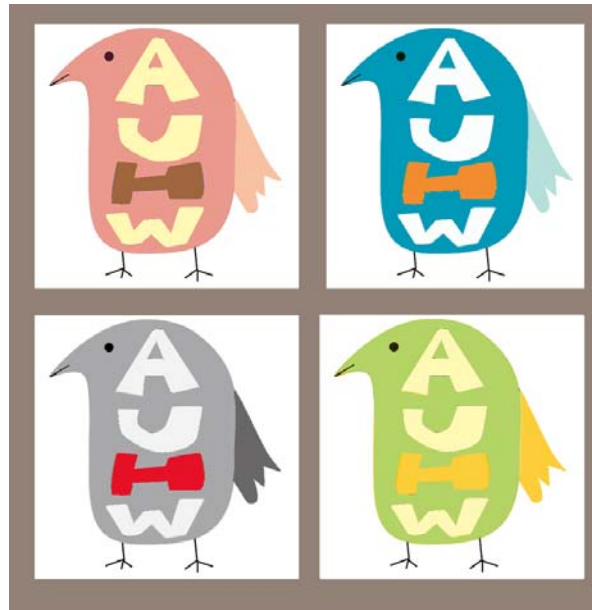
がおすすめ

図書館1階の旧AV/CAIコーナーが「メディアスペース」としてリニューアルしました。机も椅子も新品です。

データベースや電子ジャーナルを見つつ、図書も広げてレポート作成をしたい、という人におすすめです。蔵書検索、インターネットもこれ一台でOK。9席用意しています。



コンパクトながらも集中できる  
プライベート空間です



図書館広報キャラクターを紹介します。  
社会福祉学科の成田悠介さん・福土悠輔さん・牧野祥諒さんの  
アイデアをもとに2011年3月に誕生しました。  
名前は「トリゾウ」です。  
今後、図書館の広報活動に活躍予定です。

---

## 青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第18号

平成24年4月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/140library/index.html>